



# ニュースレター

弊センターでは、DuEX、HRAM を含む MMDS センターの活動を広く認知していただくため、ニュースレターを刊行しています。関係する教職員の教育・研究活動や近況、インターンシップに参加した学生の体験記や DuEX 奨励金制度を活用した学生の活動報告など、毎回様々なコラムを通して、学生、大学関係者、企業関係者の皆様へセンターの活動をご紹介します。

DuEX B コース PBL 受講体験記

## 実践データマイニングとビジネス力育成

データサイエンティストには「ビジネス力」「データサイエンス力」「データエンジニアリング力」という三つのスキルが求められるとされています。その中でも、「実践的データマイニング」では特に、「ビジネス力」を養うことができたと考えております。「データサイエンス力」と「データエンジニアリング力」は、個人が参考書などを通じて自主的に習得可能なスキルですが、「ビジネス力」は、日常生活においては相対的に獲得が難しく、高度なスキルであると考えております。本講義を通じて、データを提供していただく企業担当者の方々より、現実のビジネスに即した有益なご意見を頂き、これに基づき発表会や議論の場において、学生が「ビジネス力」が身についたと実感できるような講義になっていると思います。本講義は、「実践的データマイニング1」と「実践的データマイニング2」の二つに分かれており、それぞれで扱うデータが異なります。詳細は以下のようになっています。

### ◆ 実践的データマイニング 1

この講義では、小売店の方々のご協力のもと、POSデータを利用することで、商品の販売トレンドの把握や顧客行動の分析を行いました。より効果的なマーケティング施策を展開する方法についても学び深まりました。POSデータの分析は現代のビジネスにおいて非常に重要であり、この授業を通じて実践的なスキルを習得し、将来のキャリアに役立つ知識を得ることができました。本講義は店舗経営やデータ分析に興味を持つ学生にとって価値のある講義であると思います。



### ◆ 実践的データマイニング 2

この講義では、銀行の方々のご協力のもと、金融データを利用することで、実社会における社会の流れを体験するといったものでした。ATM の設置箇所や消費者が住んでいる地域などのような、位置を表すデータをこれまで扱ったことがなかったもので、難しいと感じました。しかし、銀行の方々の長年の知見や「このATMは、コインが詰まりやすいんだよね～」といった普段聞けない情報も聞けたので、楽しみながら分析できました。普段聞けないことや意外な話を気軽に聞くことができる貴重な講義であると思います。

和歌山大学大学院  
システム工学研究科  
システム工学専攻  
博士後期2年 下津拓未

受講講義: DuEX B コース PBL  
実践的データマイニング 1  
(株式会社オークワ)  
実践的データマイニング 2  
(株式会社紀陽銀行)

## HRAM 同窓会だより（1）

### 第1回交流会（大阪開催）



HRAM 同窓会の開設年の節目として、昨年末 12 月 27 日に対面での交流会を大阪で開催いたしました。年末の忙しい時期の開催ではありましたが、主に西日本圏から 14 名の皆様にお集まりいただくことができ（関東からもオンライン参加あり）、アットホームな雰囲気スタートしました。

交流会では、代表理事の鈴木貴から HRAM のこれまでと現状を紹介する挨拶ののち、和歌山大学データ・インテリジェンス教育研究部門の三浦浩一先生から、「和歌山大学における数理・データサイエンス・AI 教育の取り組み（データ・インテリジェンス教育研究部門の活動）」と題した大学の取り組みについてのご紹介がありました。和歌山大学では地元産業界（オークワ、サイバーリンクス、株式会社紀陽銀行など）、官公庁（総務省統計局、（独）統計センター、和歌山県、和歌山大学など）とも連携協定を結び、学生と地元を巻き込んだ取り組みを進めている様子をご報告いただきました。地元企業との連携や、実際に企業が持つオリジナルのデータを扱った実績は学生にとってアドバンテージになっているそうです。こうした取り組みに加えて、受講生の長編インタビュー動画の作成・公開やオープンバッジ制度の導入など、知名度や学生の向学心を向上させる工夫も行われており、センターと全学の連携の成果があるようでした。



和歌山大学 DTIER



2 講演の後には、軽食をとりながら参加同士の意見交換が盛り上がっていました。今回の参加者の皆様の背景を少し見ると、大学関係、製造業、コンサルタント、官公庁と職種や専門も様々で、また年代も、今回は 30-40 代と定年に近い年代が半々といった参加で、背景と世代の広さが印象的でした。参加者の皆様は専門的に統計やデータ解析を行っているわけではない一方で、普段の仕事から必要性を感じて参加されているということでした。また仕事に関わる必要性からではなく、個人的な興味から参加されている方もいらっしゃいました。HRAM では統計およびデータ解析に関わるコースを設定していますが、改めて基礎的な数理の学び直しに参加する機会が求められていることを感じました。HRAM 同窓会一同、次年度の交流会にはより多くの皆様にご参加いただければと思っております。機会がありましたら、是非ご参加ください。



## 【今後のお知らせ】

- 数理人材育成協会（HRAM）ではご入会申込及び、各種コースの参加申込みを受け付けています。申込みは HRAM ホームページ（右記 QR コード）より行なってください。

➤ HRAM ご入会申込



◀ HRAM 及び各種コースの詳細情報、申込みは左記 HRAM ホームページより。

- DuEX 講座 スタディグループ IV
  - ◇ 開催日時: 2024 年 3 月 8 日～3 月 10 日
  - ◇ 詳細未定
  - ◇ 申込締切: 3 月 5 日予定
- DuEX 講座 数理工学 PBL
  - ◇ 開催日時: 2024 年 3 月 23 日～3 月 24 日
  - ◇ 詳細: <https://duex.jp/course/detail/dsp/308>
  - ◇ 申込締切: 3 月 20 日
- リカレント講座 基礎コース
  - ◇ 開催日時: 2024 年 4 月～8 月（全 5 ヶ月）
  - ◇ 詳細: [https://hram.or.jp/business/recurrent/pdf/Basic\\_Course\\_202404.pdf](https://hram.or.jp/business/recurrent/pdf/Basic_Course_202404.pdf)
  - ◇ 申込締切: 3 月 24 日
- 「数理・データサイエンス・AI エキスパート人材育成コース」 参加募集
  - ◇ 募集期間: 3 月 1 日～4 月 30 日



- 文部科学省データ関連人材育成プログラム（D-DRIVE）「第 10 回全国合同インタラクティブマッチング」開催
  - オンライン面談: 6 月 10 日～6 月 21 日
  - 対面交流会: 6 月 22 日（土）

## 【編集後記】

- 今号もお読み頂きありがとうございます。皆様からの寄稿、お待ちしております。（編集長 小串）
- 第一回交流会では、生成 AI 等の最新技術の利活用及び知的財産管理等のお話に触れることが出来ました、有難うございます。個人の成長はもちろん、社会全体の進歩にアカデミックな面を出しつつ最大限に取り組みたいと思いますので、今後とも宜しく願い申し上げます。（副編集長 梅垣）